

山之口中学校だより

平成30年10月17日
校長 深江 祐史

10月14日（日）本校にとって、大きな行事の一つである平成30年度文化発表会が行われました。準備期間も短くタイトなスケジュールの中、文化発表会実行委員を中心に生徒と職員が一緒になって今年の文化発表会をつくり上げました。プログラム順に当日の様子を少しだけご紹介します。

【弁論】

ステージ発表は、1年2組 日高 奈々 さん 3年1組 加治屋 瑠盛 さんの国語弁論で始まりしました。開始直後の浮ついた雰囲気、個人弁論ということで、聴く側の態度を心配していたのですが、2人の発表はそれを吹き飛ばしました。日高さんの『『普通』って何？』は、非常に深く、大人も含めた人間の人權感覚の危うさを考えさせられる内容でした。そして加治屋くんは「自分を支えてくれた人」・・・自身の体験からくる本心だったからでしょう、訴える力が違いました。軽い気持ちで聞いてはいけない内容だとすぐに聞き手に伝わりました。人生は“トライ&エラー”の繰り返しだと改めて感じました。

私たちは学校や社会の中でいろんな制限を受けているようにも感じますが、ふと立ち止まると自由でもあることにも気がきます。自分の人生の主役は自分自身であること、自分がこれからどう生きていくかは、今、この瞬間から自分で決められることを大人になる過程の中でいつか気付いてほしいと思っています。いろんなことを考えさせられた2人の発表でしたが、その日一日の成功を予感させるすばらしいものでした。

次に3年2組 中西 亜貴 さん 同じく3年2組 東 真衣 さんによる英語弁論がありました。かなり練習を繰り返した弁論であることはすぐに分かりました。身振り手振りもあり、プレゼンの日本語訳を見て、ストーリーのある内容にも感心しながら見ることができました。この内容はそのまま英語圏の方々にも伝わることを考えると、やはり英語が話せるということは大きな力になるなと感じました。

【平和学習発表】（2学年）

非常に工夫されたプログラムだと思いました。テーマごとに区切ってあり、ナレーションとリレー形式の発表にスライドと音楽が加わり、非常に分かりやすいものでした。（ナマだったのでNHKスペシャルよりもわかりやすかった？・・・個人の感想です）また現在の世界情勢が取り上げられていたことに感心しました。世界の課題を解決するため私たちが考えなければならないこと、私たちがでもできることは何なのか。今回の発表で学んだことを頭の片隅において、これからニュース等を見ていくと世の中のより深い理解につながるのではないのでしょうか。最後の折鶴の合唱は大人数でとても迫力のあるものでした。準備は整いましたね。12月の修学旅行で平和について現地で学んでください。

【朗読劇 伝統芸能発表】（1学年）

すばらしいアイデアで、ストーリー性もあり、「和太鼓」「俵踊り」「剣舞」「棒踊り」「奴踊り」盛りだくさんの内容が発表されました。山之口地区の伝統芸能ダイジェスト版のようで、特に本年度入学した1年生が、それぞれの出身小学校で身につけた技を中学生になってワンパックに構成して披露することはとても意義深いものがあると感じました。山之口地区のよさの再認識と学年の友達同士の理解を深めることにつながったのではないのでしょうか。短い練習時間だったにもかかわらず、裏方を含め皆で協力してよく頑張ったと思います。

【合唱コンクール】（全学年）

私は今回審査員の一人（審査員：職員6名、生徒6名）だったのですが、最後は頭痛がしてきました。練習の様子、音楽室から聞こえる歌声、各学級の生徒、特に実行委員や学級担任の本気の思

い。もろもろのことを考えると自分の持つ感性の全てを総動員して審査しなければならないと、プレッシャーを強く感じていました。おかげで全6クラスの合唱を聞き終えるころは、脳がオーバーヒート、激しい頭痛に見舞われました。それぐらいどのクラスも甲乙つけがたいすばらしい合唱だったと思います。結果は次のとおりです。

《金賞》	3年1組	3年2組	2年1組	《指揮者賞》	山角 楓果	(3年2組)
《銀賞》	2年2組			《伴奏者賞》	上井 ゆり子	(2年1組)
《銅賞》	1年1組	1年2組				
《都北中学校音楽大会 出場学級》 3年1組(平成30年11月1日(木)MJホール)						

開会式のあいさつの中でも述べましたが、歌が得意な人、苦手な人、合唱が好きな人、そうではない人全てが心をひとつにしてつくりあげるのがクラス合唱です。結果は出ましたが、大切なのはそのプロセスですので、それを振り返り、大事にして、残り半年、自分たちのクラスづくりに役立ててください。

【吹奏楽部 演奏】

演奏を聴いた誰もが圧倒されました。一人一人が堂々としていて、自信に満ち溢れている。さすが吹奏楽コンクール「金賞」という貫禄を感じました。演奏曲も親しみやすいものが選曲されており、またソロやパートごとの演奏など軽快な動きもありました。岩元先生の指揮による演奏で、とても楽しい時間をすごすことができました。次は定期演奏会ですね。頑張ってください。

都城市立山之口中学校吹奏楽部 第34回定期演奏会						
日 時	平成30年10月20日(土) 13:30開場 14:00開演					
場 所	山之口中学校体育館					

【学年劇】(3学年)

演劇は、総合芸術です。舞台の上の役者と裏方が連携して完成させるものです。まずは、役者のチームワークがとてもよかったですね。どのくらい練習したのか私は把握していませんが、せりふのテンポが小気味よく、息もぴったりで、見ている側がとても楽しい気持ちになりました。また、幕前のスペースや二階のギャラリーを使ったりするなど演出も工夫されていました。途中暗転で場面が変わる際には、大道具の裏方の人たちがセットをすばやく整えて、また音響は役者の動きに合わせて、タイミングよく効果的な音を出していました。他にも背景、衣装等当日を迎えるまでにいろんな生徒の手が加わっていることがわかりました。それぞれ苦労もあったと思いますが、それが劇を見る人の大きな感動を呼んだのだと思います。幕が閉じたときの大きな拍手がそれを物語っていました。さすが山中の3年生、よく頑張りました。

【気がついたこと】

発表会全体の裏方の皆さんご苦労さまでした。二階ギャラリーの照明係は忙しかったですね。休み時間のカーテンの開閉にも気を使ってくれていました。スポットライトの調子が悪かった？際、すばやく二階に上って調整してくれた係りの生徒、見事な対応でしたね。助かりました。

私は生徒を横から眺める位置で鑑賞させてもらいました。そこからは、鑑賞している生徒の様子がよく見えました。多くの生徒が発表に引き込まれ、だんだん前のめりになっていきました。また、その表情は喜怒哀楽にあふれていました。心優しい山中生らしい良い鑑賞態度だったと思います。

閉会式のあいさつで文化発表会実行委員長の山元莉菜さんから「これから後は、1・2年生に引き継ぎます。よろしくおねがいします。」旨の話がありました。本当にそうですね。3年生はいよいよ受験一直線です。教頭先生が講評でふれられたとおり、今年の数々の行事を見事に成功させたことを自信に変えて、進路目標達成に向けて果敢に挑戦してください。心より応援しています。

それでは1・2年生の皆さん、生徒会選挙も近づいてきています。良いものを引き継いでいくのが“伝統”です。バトンは渡りました。しっかり受け取って、新しい山之口中学校をつくり上げてください。3年の先輩方も地域の方々も期待しています。

最後になりましたが、当日は多くの保護者や地域の方々にご参観いただきました。いつも温かく本校生徒を見守っていただき心より感謝いたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。